

認定こども園シオンが布おむつ使い続けている理由

(2020年5月)

肌に優しく、自分で排尿・排便時の「気持ち悪い」という感覚が分かるようになります。従いまして、おむつ外れの時期が早まります。(但し、個人差があります)

おむつ替えをこまめに行うことになるので、結果的に保育者と触れ合う時間が多くなり、安心して過ごせるようになります。

現在、布おむつを使用している園はごく少数のようです。

保護者の方にとって布おむつを洗うことはとても大変であったり準備の手間がかかったりもしますが、わたしたちはお子さん一人ひとりの育ちやかかわりを一番大切にしているため、敢えて布おむつを使用しています。

これからも、子ども本位の保育を目指して参ります。

#紙オムツよりも汚れた時の不快さを感じやすく、快・不快の感覚が分かるようになります。

#感覚が育つことで、排泄の自立を促します。

#汚れたことに大人が気づきやすくその都度交換をするので、衛生的で敏感な赤ちゃんの肌にもとても優しいです。

#お子さんとの触れ合いが多くなることで会話やコミュニケーションが増え、お子さんの安心感につながります。

#保育者がお子さんの表情の変化に気づきやすくなり、信頼関係が生まれます。

#お子さんの体調(下痢)によっては紙オムツを使用したり、降園に合わせて紙オムツに履き替えます。

#紙オムツよりも環境にやさしく経済的です。

#一般的におむつ外れは2歳後半頃からといわれますが、本園では一番早いお子さんの場合、**1歳7か月(※)**で外れました。

(※) 日中はパンツで過ごし、午睡時のみ布おむつ・カバーをつけた状態。

#おむつ外れの時期が早まることに伴い、一般的な期間と比べて紙オムツ購入コストが下がります。

#短期間の使用が見込まれる方は、園からの貸し出しも可能です。(中古品です)